

カメラ / フォトビューアー

カメラ・静止画でできること	116
カメラを使う	118
施設の情報を登録する (MYガイドブック登録)	118
カメラで付近の施設を調べる (何これカメラ)	119
カメラで街並みの情報を見る (街並みスコープ)	120
写真(静止画)を撮影する	122
カメラの設定をする	123
撮影した場所を地図上に表示する	124

静止画を見る(PHOTO)	125
静止画を再生する	125
スライドショーを見る	126
静止画を編集する	126
本機で撮影した写真の、 撮影した場所の地図を表示する	127
静止画を回転させる	127
静止画データについて	128

以下の機能には対応していません。

- 夜間撮影機能(フラッシュ、ナイトモードなど)
- オートフォーカス

- ズーム
- 手ブレ補正

- 連続撮影
- 動画撮影

カメラの色々な使いかた

1 メインメニューからカメラをタッチする

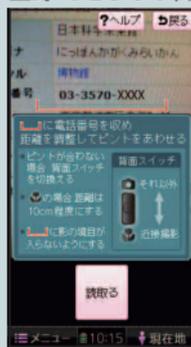
- カメラメニューが表示されます。



2 使用したい機能を選ぶ



MYガイドブック登録 →P.118
雑誌などに記載されている電話番号に向けてシャッターを切ると、その施設の情報が表示され、MYガイドブックとして地点登録できます。(最大1000件)



- MYガイドブックから探す →P.81
- MYガイドブックの情報を見る →P.97
- MYガイドブックを編集する →P.99

何これカメラ →P.119

シャッターを切った場所付近の施設の情報が表示されます。



- 施設の情報は付属の地図 microSDHCカードに収録されているガイドブック (P.64) のるぶDATAから検索されます。

街並みスコープ →P.120

カメラを通して見た街並みの風景に、施設名・地形名・ランドマークなどの情報が表示されます。また、ルート案内中は進行方向を表示し、街並みの映像を確認しながら歩行用ナビゲーションとして使用できます。



- 街並みスコープ自動起動 (P.165) が「する」に設定されている場合、地図画面表示中に本機を垂直にするだけで街並みスコープに切り換えられます。

カメラ →P.122

写真(静止画)の撮影ができます。



PHOTO →P.125

本機や他のカメラで撮影した写真(静止画)を表示できます。また、スライドショーで見たり、地図上に撮影した場所を表示させることができます。



カメラで付近の施設を調べる(何これカメラ)

何これカメラに切り換えるには→P.116

施設にカメラを向けてシャッターを切ると、施設の情報が表示されます。



GPS受信中表示

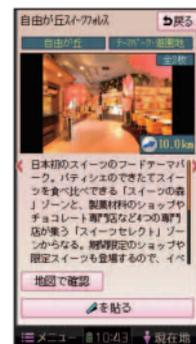
お知らせ

- 施設詳細画面は、ガイドブック(P.64)のるるぶDATAのものが表示されます。
- 下記の場合は、カメラを向けた施設の情報表示されず、シャッターを切った場所付近の別の施設の情報が表示されます。
 - カメラを向けた施設の情報がない
 - カメラを向けた施設より近い距離に、情報のある施設がある
- GPS未受信時、何これカメラは使用できません。
- 何これカメラでシャッターを切っても、写真(静止画)は保存されません。
- 電子コンパス調整画面が表示されたら→P.188

1 情報を見たい施設の近くまで移動して、カメラを向ける

2 シャッター(何これ)をタッチする

- カメラを向けた施設の情報が表示されます。

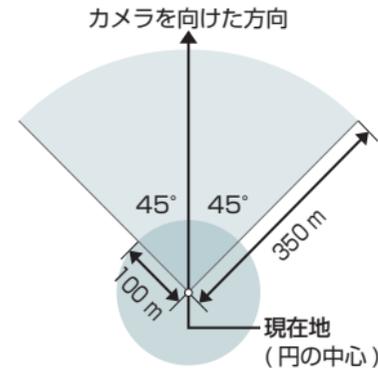


(施設詳細画面→P.72)

- 検索された他の施設がある場合、左右にドラッグ/フリックすると切り換えられます。

検索範囲

- 現在地を中心に半径100 mまで
- カメラを向けた方向に左右45°で350 m先まで
- 近い順に最大10件



お知らせ

- 本機の傾きが大きいとき(地面に対して水平に近いとき)は、検索範囲内でもカメラの向きが認識できず、施設情報が表示されない場合があります。

施設の情報を登録する(MYガイドブック登録)

MYガイドブック登録に切り換えるには→P.116

準備

- 市販のmicroSDカードをデータ用microSDカード挿入口に挿入してください。

1 ガイド線に電話番号が収まるように距離を調整し、読取るを選ぶ



ガイド線

読み取り方法の説明

- 収録されている電話番号検索データから、施設の名称・住所を検索します。
- 電話番号を読み取る時は、マクロモードに設定(P.123)し、約5 cm ~ 15 cm離して読み取ってください。30 cm以上離して読み取る場合は、通常撮影モードにしてください。

読み取れなかったとき

やり直すを選び、読み取り直す

- 手で入力する場合は**手入力**を選び電話番号を入力後、**完了**を選ぶと、施設の検索を開始します。
 - 該当する施設がなかったとき →手順2「該当する施設がなかったとき」へ
 - 該当する施設が複数のとき →手順2「該当する施設が複数のとき」へ
 - 施設登録画面へ：
 - 検索せずに登録する→手順3へ
 - 中止**：登録を中止する

2 読み取った電話番号が正しいことを確認し続けるを選ぶ

- やり直す**：読み取り直す
- 手入力**：手で入力し直す
- 中止**：登録を中止する

該当する施設がなかったとき

手入力で施設を登録するを選ぶ

該当する施設が複数のとき

施設を選ぶ

- 登録中止**：登録を中止する

3 登録するを選ぶ

- 施設情報の編集のしかた→P.99
- 名称が未入力の場合、登録できません。
- 登録中止**：登録を中止する
- 続けて登録するときは、表示された施設のリストの画面で**新規登録**を選ぶ→左記 手順1へ

お知らせ

- 電話番号が下記の状態の場合、正常に読み取れないことがあります。
 - ぼけている
 - 水平ではない
 - カメラと平行ではない
 - 湾曲している
 - 背景がついている
 - 文字が薄い
 - 文字が小さい
 - 光が映っている
 - 文字と文字との間隔が狭い
 - 縦書きになっている
 - 文字の色が途中で変わっている
 - 手書き、または手書き風に記載されている
- ガイドブックメニュー(P.60)から**MYガイドブック**を選び、グループを選んだあと、**新規登録**を選んで登録することができます。→左記 手順1へ

カメラで街並みの情報を見る(街並みスコープ) 街並みスコープに切り換えるには→P.116

カメラを通して見た街並みの風景に、施設名・地形名・ランドマークなどを表示できます。またルート案内中は矢印で進行方向を表示し、街並みの映像を確認しながら歩行用ナビゲーションとして使用できます。

GPS受信中に表示

施設名・地形名・ランドマーク

分岐案内表示※1
次の分岐点の情報(分岐方向、階段、経由地など)をマークで表示します。

目的地・経由地マーク※1

進行方向表示※1
進む方向を表示します。
● ルートからはずれた場合、表示されません。

残距離表示と到着予想時刻※1
目的地までの距離と到着予想時刻を表示します。

方角
電子コンパスの情報をもとに、方角を表示します。
● 方角が正しく表示されないときは、**<** **>** で調整してください。

※1 ルート案内中のみ表示されます。



1 地平線(または水平線)をガイド線に合わせる
● 遠方に山があるなど、地平線が見えない場合は、地平線を想定してガイド線に合わせてください。

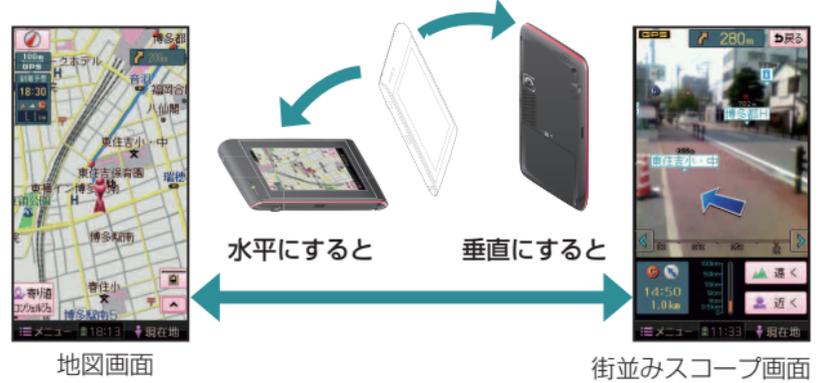
2 遠く/近くで、距離を調整する
● 街並みの映像と情報のずれが最も少なくなるように調整してください。(6段階)
● 視点が低いほど近く、高いほど遠くに設定すると、より正確に情報が表示されます。
[P.121 「街並みスコープの見える範囲(イメージ)」]

お知らせ

- 表示される方角には誤差があります。
- 地平線・距離および表示される情報は、目安です。場所や使用環境によっては、正確に表示されない場合があります。
- ランドマークは、ランドマークセレクト(P.56)で設定された内容で表示されます。
- GPS未受信時は、使用できなかったり、正確な場所が表示されない場合があります。
- 電子コンパス調整画面が表示されたら→P.188

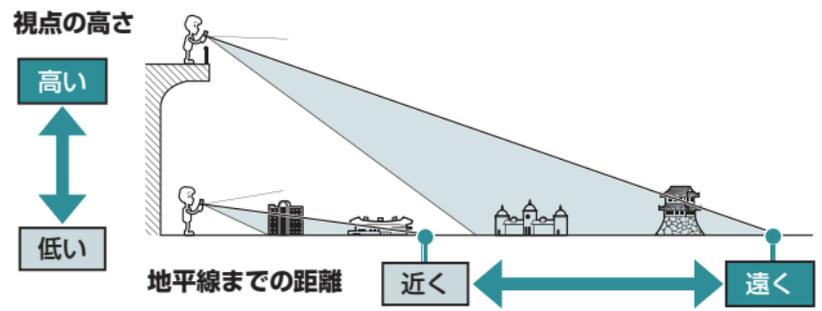
地図を確認しながら街並みスコープを使う

街並みスコープ自動起動(P.165)を「する」に設定している場合は地図画面表示中に本機を垂直にするだけで街並みスコープに切り換えることができます。



お知らせ
● 街並みスコープ画面を表示中に、**現在地** タッチすると地図画面が表示されます。

街並みスコープの見える範囲(イメージ)



カメラの設定をする

(太字:お買い上げ時の設定)

1 カメラ画面(P.122)から、設定を選ぶ

2 各項目を設定する



3 完了を選ぶ

お知らせ

- カメラの明るさとホワイトバランスの設定に連動して、何これカメラ(P.119)・街並みスコープ(P.120)の設定も変更されます。

明るさを調整する

明るすぎる/暗すぎる場合に明るさを調整します。

1 </>で補正する

- 調整範囲: -3 ~ ±0 ~ +3
- 明るさを「±0」以外に設定すると、画面に補正值(「+1」など)が表示されます。(P.122)

ホワイトバランス(色あい)

通常は光源に応じて自動で適切な色あいに調整されますが、撮影された写真の色あいが不自然になる場合は、光源に応じて手動で設定してください。

1 </>で設定を選ぶ

オート: 自動で色あいを調整	曇り: 曇天の屋外
太陽光: 晴天の屋外	蛍光灯: 蛍光灯の光
	白熱灯: 白熱灯の光

- 「オート」以外に設定すると、画面にマークが表示されます。(P.122)

記録画素数

画像の細かさを設定できます。

1 画素数を選ぶ

- 2 M: 200万画素(1 600×1 200)
- 0.3M: 30万画素(640×480)

近付いて撮影する(マクロモード)

花などの被写体に近づいて撮影したいときには、マクロモードで撮影してください。10 cmまで接近して撮影できます。

1 マクロモード切換スイッチ(P.25)をマクロモード側(🌸)にスライドさせる



- マクロモード切換スイッチを切り換えるとき、レンズに触れないようにご注意ください。

2 撮影する(P.122)

- 被写体と本機の距離が10 cm~60 cmになるように合わせてください。60 cmより遠くなる場合は、通常撮影モードで撮影してください。

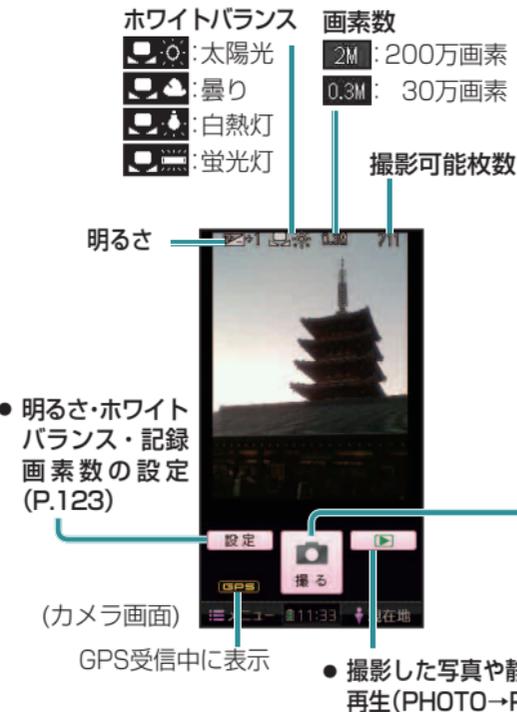
写真(静止画)を撮影する

カメラに切り換えるには→P.116

本機で撮影された写真には、位置情報が付与されます。プライバシーや個人情報の保護のため、自宅などで撮った写真をインターネット上で公開するときには、必ず位置情報を消去してください。(P.126)

準備

- 市販のmicroSDカードをデータ用microSDカード挿入口に挿入してください。



1 シャッター(撮る)をタッチする

- シャッター音が鳴り、撮影した写真(静止画)が表示されます。手順2の画面が表示されるまで、本機を動かさないでください。(手ブレ防止のため)

お願い

- カメラのレンズ・GPSアンテナ(内蔵)に指やストラップがかからないように本機を持ってください。

お知らせ

- シャッター音を出さなくしたり、音量を調整することはできません。

2 撮影した写真を確認し、保存するを選ぶ



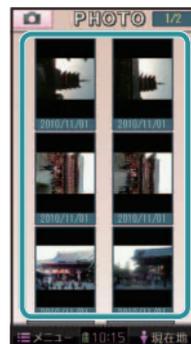
- 写真がmicroSDカードに保存されます。
- GPSが表示されていないときに「保存する」を選ぶと、位置情報は付与されません。
- キャンセル: 写真は保存されず、破棄されます。

静止画を再生する

準備

- 静止画の保存されたmicroSDカードをデータ用microSDカード挿入口に挿入してください。

1 リストから静止画を選ぶ



- : カメラに切り換(P.122)



- 選んだ静止画を再生します。(静止画再生画面)
- 左/右にドラッグまたはフリックすると、前/次の写真を表示します。

静止画再生画面をタッチすると
タッチキーが表示されます。

カメラに切り換 (P.122) タッチキーを消去



静止画操作パネル

- **一覧表示** : リストに戻る(左記)
- **スライドショー** : スライドショーを見る(P.126)
- **右回転** : 静止画を回転(P.127)
- **地図表示** : 撮影場所の地図を表示(P.127)
- **編集** : 静止画を編集(P.126)

お知らせ

- 本機で再生できるファイルについて、詳しくはP.128をご覧ください。
- 静止画の容量が大きい場合、表示に時間がかかる場合があります。
- 静止画によっては位置情報を付与または編集できない場合があります。
- 本機を横に構えて撮影した写真は再生時に自動で横向きに表示されます。(ただし、上や下に向けて撮影した写真は、縦向きで表示されます。)

撮影した場所を地図上に表示する

本機で写真を撮影した場所が、地図上にカメラマーク()で表示されます。(お買い上げ時の設定:ON)
また、マークをタッチすると、写真を表示できます。

1 表示変更メニュー(P.56)から、

マーク表示 をタッチする

- 撮影した地点にカメラマークを表示
(地図の中心から近い順に、最大100件)
- 再度タッチすると消去されます。



お知らせ

- 位置情報が付与されていない写真の場所は、地図には表示されません。
- GPS対応のカメラで撮影された写真(Exif Ver. 2.X準拠)でも、撮影した場所にカメラマークを表示できません。
- 車モード時、2画面表示(P.144)の右画面にはマークは表示されません。



カメラマークの写真を見るには

1 見たい写真のカメラ

マーク()をタッチする

- タッチしたカメラマークが地図の中心に移動し、地図に写真が約6秒間表示されます。



- マークが重なっている場合は、マークをタッチするごとに、写真が切り換わります。
- 写真をタッチすると、写真が全画面で表示されます。(全画面をタッチすると地図画面に戻ります。)

スライドショーを見る

- 1 静止画操作パネル(P.125)から**スライドショー**を選ぶ



- 画面サイズに合わせて拡大/縮小されます。
- 全ての静止画を再生すると、最初の静止画からもう一度再生します。

- **スライドショーを終了するには**

- 1 画面に**タッチ**する
 - 静止画再生画面に戻ります。

静止画を編集する

- 1 静止画操作パネル(P.125)から**編集**を選ぶ
- 2 各項目を設定する



静止画を消去する

- 1 **画像消去**を選ぶ
- 2 **はい**を選ぶ

位置情報を消去する

- 1 **位置情報消去**を選ぶ
- 2 **はい**を選ぶ

位置情報を設定する

- 1 **位置情報設定**を選ぶ
 - 2 設定したい場所に**スクロール**させる
 - 3 **セット**を選ぶ
- 他のカメラなどで撮影された写真に位置情報を設定すると、データが破損する場合があります。

静止画データや位置情報は、消去すると、もとに戻せません。消去は十分確認のうえ行ってください。

本機で撮影した写真の、撮影した場所の地図を表示する

- 1 静止画操作パネル(P.125)から**地図表示**を選ぶ



撮影した地点

- 他のカメラマーク(📷)をタッチすると、その地点が地図の中心に移動し、その写真が表示されます。
- マークが重なっている場合は、マークをタッチすることにより、写真が切り換わります。
- マークの無い場所にスクロールすると、表示中の写真は消えます。
- GPS対応のカメラで撮影された写真(Exif Ver. 2.X準拠)でも、撮影した場所の地図を表示できます。

- 位置情報のない写真の場合は**地図表示**をタッチすると、位置情報編集画面(下記)が表示されます。下記の手順で位置情報を設定してください。

- 1 設定したい場所に**スクロール**させる



(位置情報編集画面)

- 2 **セット**を選ぶ

- **地図表示を終了するには**
戻るを選ぶ
または、**写真にタッチ**する
- 静止画再生画面に戻ります。

静止画を回転させる

- 1 静止画操作パネル(P.125)から**右回転**を選ぶ
- 静止画が右に90°回転します。

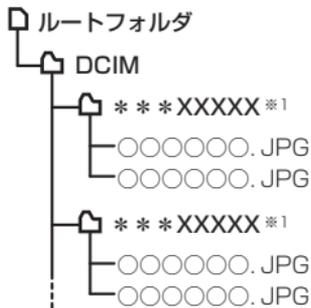
静止画データについて

microSDカードに保存した静止画データを本機で再生できます。

- パソコンに接続し、おでかけ工房を使用して静止画データを本機に保存することができます。
・パソコンと接続して使うには
→P.34

おでかけ工房を使用できない場合

- 静止画データは、microSDカードの直下（ルートフォルダ）の「DCIM」フォルダに、DCF規格準拠の静止画フォルダ^{※1}を作成して保存してください。



※1 半角数字3文字+半角英数字5文字の名前で作成されたフォルダ

JPEG(ジェイペグ)とは

Joint Photographic Experts Groupの略称。

カラー静止画を圧縮、展開する規格のひとつです。

静止画データの保存形式としてJPEGを選ぶと、もとのデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

■ 本機で再生できる静止画ファイル

- 画素数: 2000万画素以下
- 画像サイズ: 横5120×縦3840 dot以下
- ファイル名: 全角・半角ともに12文字以下(拡張子含まず)
- 形式: DCF規格^{※2}/Exif規格^{※3}(Ver. 2.X)に準拠したJPEG形式
(本機やデジタルカメラ等で記録したもの)
- 拡張子: 「.JPG」「.jpg」
- DCF規格に準拠していないJPEGファイルは、再生できない場合があります。
- Motion JPEGは再生できません。

※2 DCF : Design rule for Camera File system

[社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

※3 Exif : Exchangeable image file format

■ ファイル・容量の制限

- ファイル数: 1000まで
- 容量: 1ファイルにつき6 MBまで

お知らせ

- 静止画を表示できないファイルは、が表示されます。
- microSDカードに1000枚を超える静止画が保存されていると、ファイルが読み込めず、見たい静止画を表示できない場合があります。